



新潟・下越

洗練された空間と上質のサービスで
お客様をおもてなしいたします

新潟東映ホテル

新潟東映ホテルは、昭和36年に新潟市初の洋式ホテルとしてオープンし今年58年を迎えたシティホテルです。



レスティニー

客室数133部屋、大小6つの宴会場、メイダイニング、ステーキハウスを完備しており、半世紀の長きにわたりお客様からご愛顧いただいております。映画会社の東映株式会社の直営ホテルとして、「エンターテイメント&サプライズ」を共通コンセプトに、デザイナーシヨールなどいろいろな企画も行ってまいりました。最先端文化の発信とお客様の様々なニーズにお応えできる、オリジナリティー豊かなホテルを目指しております。



スタンダードツイン

施設面では少しずつ改装やリニューアルを実施しており、メインダイニング「レスティニー」は2017年7月、気軽にフレンチ料理が楽しめるカジュアルな装いにリニューアルし、お手頃価格の創



■新潟東映ホテル

〒950-0901 新潟市中央区弁天2-1-6
TEL025-244-7101 FAX025-241-8485

<https://www.toeihotel-niigata.com/>

作料理やパティープランが人気です。また、朝食は「にいがた朝食」をテーマに地元食材にこだわり、県外のお客様に新潟を感じてもらえるお料理を提供しております。大手宿泊予約サイトでは好評価をいただいております。お料理だけでなくスタッフの対応もお客様からご満足いただけるよう心掛けております。

同フロアにあるステーキハウス「あづま」は、目の前でステーキを焼き上げるスタイルで臨場感あるパフォーマンスと、厳選された高品質な和牛をお楽しみいただけます。2019年11月に全面リニューアルをし、さらにラグジュアリーな空間に生まれ変わり、大型ワインセラー、ワインサーバーの導入で、ソムリエの厳選ワインをお楽しみください。

これからも、地域の皆様と共に歩み、様々な場面で当ホテルをご利用いただけるようスタッフ一同細やかで温かみあるサービスを目指し頑張っております。今後ともよろしくお願いたします。



朝食



ステーキハウスあづま

中越・上越

「天下の銘酒 能鷹」

清酒能鷹 田中酒造株式会社

弊社、田中酒造株式会社は創業が1643年（寛永20年）今年で376年目を迎えております。

旧国道8号線沿いで、えちごトキメキ鉄道の谷浜駅前に位置し前方には日本海が広がり、夏には合浜海水浴場がオープンし沢山の海水浴客で賑わう全国でも珍しい海と駅に近い酒蔵です。

銘柄は「能鷹」(のうたか)

昭和18年に先代社長の田中キミさんの好きだった格言「能ある鷹は爪を隠す」から引用したと言われております。

それ以前は「公の松」(きみのまつ)という銘柄でしたが、社長本人の名前が付いている銘柄に違和感があり変更したそうです。

その頃(昭和18年)は全国的に酒米の配給がままならない状況のなか、何度となく廃業の話が行われていました。しかしその話は当時の嫁のキミさんには知らされておらず廃業届を提出する当日に夫の直治さんより初めて知らされたとのこと。



大きな甑(こしき)で蒸米します。今年も良い酒が出来上がりました。



酒造りの前には松尾様へ祈願します。



■田中酒造株式会社

代表取締役 小柳 忍
〒949-1701 上越市長浜129-1
TEL025-546-2311 FAX025-546-2433

<http://www.noutaka.jp>
E-mail tanakasyuzou@noutaka.jp

仕込水は近所の寺の境内の横井戸より滾々と湧き出る軟水で酒本来の旨味を十分に満たしてくれる命の水です。

酒造りは人づくり。昔ながらの手造りに拘り「和醸良酒」(わじょうりょうしゅ)和をもって醸せば良い酒が出来る。をモットーに蔵人一同頑張って酒造りをしております。

是非一度上越にお出でいただき、この土地の風土を感じて、天下の銘酒「能鷹」を飲んでいただければと思っております。

昭和23年に直治さんが亡くなり、キミさんは当時郵便局員だった長男弘邦を店主としましたが実際はキミさんが酒屋業を経営していました。自分の方より支える様は、正にキミさんが好きだった格言「能ある鷹は…」に由来するのではないのでしょうか。

お酒の特徴ですが、地元では「酒飲みのお酒」と言われ味の濃い濃厚なタイプで、いかにも飲んだくという酒好きに大変好まれるお酒です。



耳より情報

もしもし検定4級の概要

試験実施主体：公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
検定試験方法：筆記検定試験
試験の内容：マークシート方式の筆記試験
出題の範囲：3級教育課程と同レベルとする。

- ・教養ある社会人として欠かせない人格的マナー
- ・話し言葉・聴くこと・話すこと・気遣うこと
- ・敬語と言葉遣いの基本
- ・発声・発音の基本
- ・電話と対面コミュニケーションの違い
- ・様々なコミュニケーションツールと電話メディアの特徴
- ・個人情報保護法(概要)
- ・電話応対の基礎
- ・電話の受け方かけ方、取り次ぎ、伝言

領域別出題数：ビジネスマナー6問、日本語7問、法的知識2問、コミュニケーション2問、電話応対3問 合計20問
申込先等：長野支部026-223-8619 新潟支部025-211-8381
詳しくはユーザ協会ホームページをご覧ください。
検定試験日：毎月第1水曜日(但し、1月・5月は第2水曜日)



もしもし検定 4級(入門級) 電話応対技能検定

もしもし検定4級って?

電話応対エキスパートを目指す層の拡大を図るため、企業及び受験者の負担を軽減し、参画しやすい、マークシート方式の筆記試験のみで選考を行うエントリークラスのもしもし検定です。試験時間も実技無しで40分で完了し、検定料も1,000円(税別)にて受験することができ、ビジネス電話応対に必要なコミュニケーションの基礎知識を有する事ができます。

もしもし検定4級合格者は「おトク」がいっぱい!

- 3級合格への道がグッと近くなります。
- 3級受験のための必須研修の一部が免除!
- 3級受験の際の筆記試験が免除!

「もしもし検定」過去問にチャレンジ!!

問題 出典：電話応対技能検定 公式問題集3・4級 発行：日本経済新聞出版社

お客様に「必要書類を忘れないように」と念を押す場合、敬語の使い方でも最も正しいものはどれですか。次の中から1つ選びなさい。

1. 「どうか、必要書類をお忘れになりませんように」
2. 「どうか、必要書類をお忘れしないように」
3. 「どうか、必要書類を忘れないように」
4. 「どうか、必要書類をお忘れないように」